

特定小電力トランシーバー

FC-JX PRO

取扱説明書

保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用
ください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照
ください。

本製品は日本国内専用モデルですので、国外で使用することはで
きません。

故障かなと思ったら、まずリセットを行ってください。

(59 ページ参照)

◆総務省技術基準適合品

◆免許・資格不要



目次

安全上のご注意.....	3	秘話コード選択.....	30
安全についてのお願い・ご注意.....	3	デュアルワッチ.....	31
ご使用の前に.....	7	VOX (ハンズフリー) 機能.....	33
防塵・防水性能について.....	6	VOX 保持時間.....	34
電波法に関する注意.....	6	PTT ホールド.....	35
使用上のご注意.....	7	呼び出し音.....	36
特定小電力トランシーバーの規格による制限.....	7	スケルチ感度.....	37
免責事項について.....	7	操作音.....	38
通信チャンネルについて.....	8	バックライト.....	39
FC-JX PRO の便利な機能.....	10	トークビープ.....	40
同梱品の確認.....	11	終話音.....	41
オプション一覧.....	11	オートパワーオフ.....	42
使用する電池.....	12	送信許可.....	43
電池残量表示.....	13	送信出力.....	44
充電池の充電.....	13	オートチャンネルサーチ.....	45
電池の取り付け.....	14	終話ノイズ軽減機能.....	47
ストラップ取り付け.....	15	コンパンダー機能.....	48
ベルトクリップの取り付け.....	15	スピーカー断線検出.....	49
オプションのイヤホンマイク取り付け.....	16	クイックミュート.....	50
折りたたみアンテナ採用.....	16	送受信インジケーター.....	52
各部の名称.....	17	着信ランプ設定.....	53
基本操作.....	18	内部マイク感度.....	54
電源を入れて通話をする（交互通話）.....	18	外部マイク感度.....	55
グループ番号の設定.....	19	アクセサリー設定.....	56
秘話の設定.....	21	ビープレベル.....	57
キーロックの設定.....	22	無線データ転送（エーカローン）.....	58
キーロック・チャンネル非表示機能の設定.....	23	リセット.....	59
スキャン機能.....	24	故障かな？と思ったら.....	60
モニター.....	24	主な仕様.....	62
その他便利な機能.....	25	保証規定 / 保証書.....	裏表紙
拡張メニュー モード.....	25		
中継器モードの設定.....	26		
中継器を使用して通信を行う.....	27		
バッテリーセーブ.....	28		
使用電池.....	29		

安全上のご注意

安全についてのお願い・ご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用する場合は、下記の内容をよく理解して記載事項をお守りください。



危険

この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。



警告

この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



気をつけていただきたい内容です。



してはいけない内容です。



しなければならないことを表しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険



引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本機を操作するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作してください。



本機の使用に当たり、単3アルカリ乾電池または指定の充電池以外使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。



火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。電池が液漏れを起こしたときは、使用を止めてください。



液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



電極をショートさせないでください。
心臓ペースメーカー装着者は使用しないでください。本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼす可能性があり誤動作による事故の原因になります。



火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。



端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

使用環境・条件

-  電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認の上ご使用ください。
-  ごく近くに人がいる場合、送信しないでください。
本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について

-  エアパック装置の近くに無線機を置かないでください。エアパック装置が動作したときなど無線機が体に当たってけがをすることがあります。
-  機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。けがの原因となります。
-  本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
-  本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当ってけがを負わせたり、物に当つて無線機が破損することがあります。
-  ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。けがの原因となります。
-  高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。

異常時の処置について

-  内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。
-  煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
-  雷が鳴り出したら、安全のため電源を切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

保守・点検



本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

使用環境・条件



テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする場合があります。



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。



無線機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について



アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。



マイク / イヤホン端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。



乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じことがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。



長時間使用しないときは、電源を切り、電池を外してください。



お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。



イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。



水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

防塵・防水性能について

本機は設計段階において該当する防塵／防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護 IP65 相当の防塵／防水性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵／防水を保証するものではありません。
- オプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてから固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミなどを挟んでいないかご確認ください。
- 石鹼水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。洗面器に真水を入れ、手で少しづつ水をすくい汚れを洗い流す。乾いた柔らかいきれいな布で水分を拭き取って十分乾燥させる。
- 本機が濡れているときは防水カバー、電池パックを開けないでください。
- オプション自体の防塵／防水性能は各オプション製品により異なります。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵／防水性能に影響を与える場合があります。

電波法に関するご注意

- 本機を分解・改造して使用すること、また本機の技術適合証明ラベルを剥がして使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用は禁止されています。

使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 中継器を使用しないで通話できる距離は環境によって大きく変わります。通話距離の目安として、見晴らしの良い郊外で1～2km、市街地で100～200mです。地形や環境(天候や建物などの障害物)によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。

特定小電力トランシーバーの規格による制限

●通信時間制限について

特定小電力トランシーバーで連続的に交信する場合は、送信と受信の時間を合わせて3分間で自動的に送信を停止し、受信状態になります。3分間の通信時間制限機能により自動停止になった後の2秒間は送信できません。2秒間経過後は、通常通り交信できます。

*送信出力が1mWの時はこの限りではありません。(P.44 参照)

●キャリアセンスについて

無線機が通話状態に無い時に、他の無線機から信号を受信中にPTTスイッチを押しても、アラーム音が鳴り送信できません。通話状態にある時はこの限りではありません。

免責事項について

お客様または第三者が本機の故障・誤作動などにより、利用の機会(通話など)を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

通話チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表（単信）

本機（周波数 MHz）	11ch 機	9ch 機	他社例
ch1 (422.0500)	ch1		ch1
ch2 (422.0625)	ch2		ch2
ch3 (422.0750)	ch3		ch3
ch4 (422.0875)	ch4		ch4
ch5 (422.1000)	ch5		ch5
ch6 (422.1125)	ch6		ch6
ch7 (422.1250)	ch7		ch7
ch8 (422.1375)	ch8		ch8
ch9 (422.1500)	ch9		ch9
ch10 (422.1625)	ch10		ch10
ch11 (422.1750)	ch11		ch11
ch12 (422.2000)		ch1	ch h1
ch13 (422.2125)		ch2	ch h2
ch14 (422.2250)		ch3	ch h3
ch15 (422.2375)		ch4	ch h4
ch16 (422.2500)		ch5	ch h5
ch17 (422.2625)		ch6	ch h6
ch18 (422.2750)		ch7	ch h7
ch19 (422.2875)		ch8	ch h8
ch20 (422.3000)		ch9	ch h9

中継器チャンネル周波数表

本機チャンネル表示	送信 [MHz]	受信 [MHz]
01	440.0250	421.5750
02	440.0375	421.5875
03	440.0500	421.6000
04	440.0625	421.6125
05	440.0750	421.6250
06	440.0875	421.6375
07	440.1000	421.6500
08	440.1125	421.6625
09	440.1250	421.6750
10	440.1375	421.6875
11	440.1500	421.7000
12	440.1625	421.7125
13	440.1750	421.7250
14	440.1875	421.7375
15	440.2000	421.7500
16	440.2125	421.7625
17	440.2250	421.7750
18	440.2375	421.7875
19	440.2625	421.8125
20	440.2750	421.8250
21	440.2875	421.8375
22	440.3000	421.8500
23	440.3125	421.8625
24	440.3250	421.8750
25	440.3375	421.8875
26	440.3500	421.9000
27	440.3625	421.9125

FC-JX PRO の便利な機能

- IP65 相当の防水・防塵構造です。

- グループモード

仲間以外の受信をシャットアウトします。

- ハンズフリー (VOX) 機能

PTTスイッチを押さなくても、マイクに向かって話すと自動送信されます。

- トークビープ

会話の頭切れを防ぐために話を始めるタイミングをビープで知らせます。

- セレクタブルスクランブラー

6種類の秘話コードを選択することができます。

- デュアルワッチ

2つのチャンネルを交互に待受けできます。

- セカンドトーク PTT

デュアルワッチ運用中はモニターキーをサブチャンネル専用 PTTとして使用できます。

- キーロック・チャンネル非表示機能

通話チャンネル表示を消すことができます。

- オートチャンネルサーチ

自動的に空チャンネルを探して相手局と交信することができます。

- 無線データ転送機能 (エアークローン機能)

設定されている内容を無線で一斉に複数台へ転送することができます。

同梱品の確認



本体(1台)



ベルトクリップ(1個)



取扱説明書(1冊)
保証書付

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

充電式バッテリーパック・・FBP-2

急速充電器・・・・・FBC-5RS

スピーカーマイク・・・・・適合スピーカーマイクはKWPタイプ。

イヤホンマイク・・・・・適合イヤホンマイクはKWPタイプ。

中継器・・・・・FC-R3

※弊社ホームページを参照してください。

※本機で使用できるオプション品が追加されたり、生産が終了することがあります。

オプション品については弊社ホームページ、カタログなどをご覧ください。

※弊社純正、または弊社が認めたオプション品以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無に関係なく、有償修理になります。他の無線機メーカーのオプション品が使用できるかは検証していないため、使用は推奨できません。

オプション専業メーカーの製品の場合は、そのメーカーにお問い合わせください。

使用する電池

本機で使用する電池は市販の単三型アルカリ乾電池、または指定の Ni-MH 充電池を必ずご使用ください。

- ・新品単三アルカリ電池 3 本での使用時間の目安・・・約 47 時間
- ・オプションの Ni-MH 充電池 (FBP-2: 1200mAh) の使用可能時間の目安・・・
満充電で約 30 時間

測定条件：低周波出力 100mW、送信 10 秒、受信 10 秒、待受 80 秒の繰り

返し動作。バッテリーセーブは初期値：2

※電池の使用可能時間は周囲温度や音量、電池の種類などの使用条件により変動します。

注意

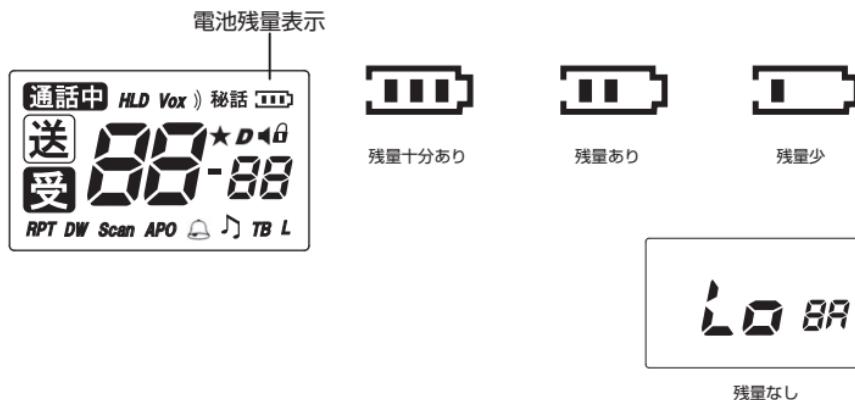
- 1 乾電池は新旧混ぜないでください。
- 2 電池の消耗を防ぐため、工場出荷時は受信待受け状態が 2 秒間継続するとバッテリーセーブ機能が動作開始する設定になっています。バッテリーセーブ中、受信立ち上がりおよび VOX 送信立ち上がり等に通常より時間がかかる場合があります。
- 3 充電池は充放電を繰り返すと、使用可能時間は徐々に短くなります。
- 4 長期間製品を使用しない場合、無線機から電池を取り出して保管をしてください。長期間保存後に使用する際、新品の乾電池を使用するか、充電池を再充電してからご使用ください。
- 5 市販の Ni-MH 充電池（エネループ等）を使用すると電池残量警告が正しく表示されないことがあります。
- 6 乾電池を充電しないでください。発熱や破裂、液漏れの原因になる場合があります。

電池残量表示

電池残量表示は3段階あり、残量の目安をあらわします。

電池容量が十分ある時、残量バーが3個点灯します。残量バーが空になると、電池残量警告音が鳴るとともに [LoBA] が表示されます。この場合、電源を切って新しい乾電池に交換するか、充電池の場合は再充電をしてください。

電池残量の目安



充電池の充電

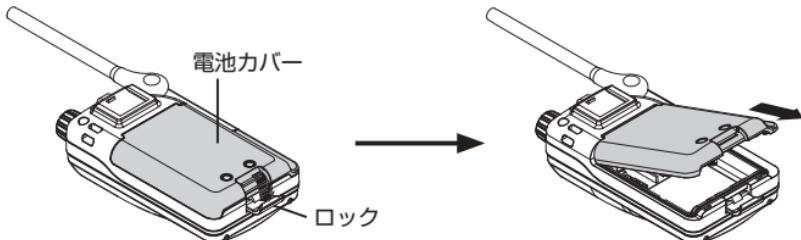
オプションの充電池を充電する場合は、充電池 (FBP-2) と充電器 (FBC-5RS) の取扱説明書を参照ください。

ご使用の前に

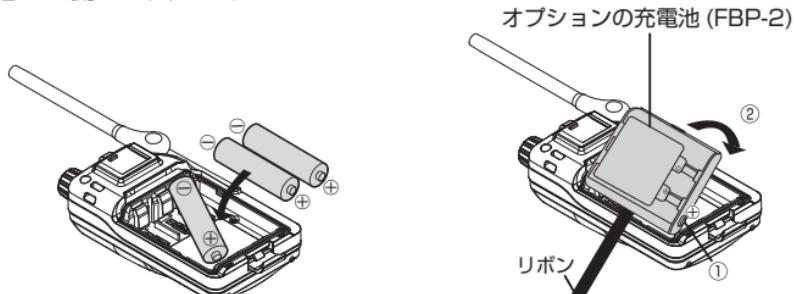
電池の取り付け

電池カバーを開ける前に、ベルトクリップを外しアンテナは起こしておきます。

1. ロックを外し、電池カバーを開けます



2. 電池を+側から入れます



単三アルカリ乾電池 3 本を表示に従って
+側から入れます。

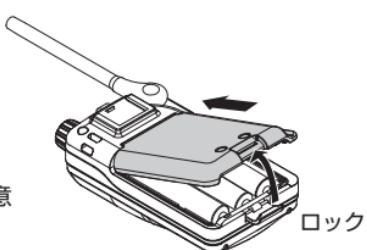
ご注意：新旧の乾電池を混ぜないでください。

オプションの充電池の場合も+側から
入れます。

3. 電池カバーを閉めます

電池カバーを閉めロックをかけます。

※充電池の場合、リボンを挟まないように注意
してください。

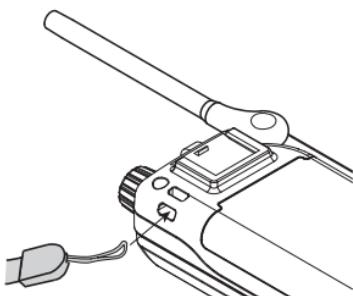


電池に関する注意

電池は使い方を誤ると破裂、破損、液漏れや機器の故障の原因となります。
下記注意事項を守ってご使用ください。

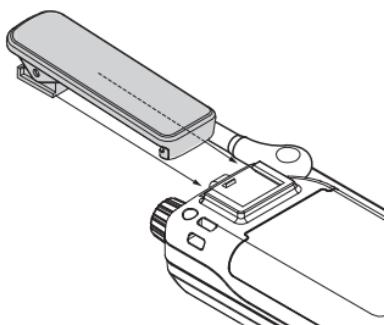
- ・ 火の中に投げ込まないでください
- ・ ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。
- ・ 長時間使用しない時は、電池を本体から取り出して保管してください。

ストラップの取り付け



本体上部のストラップホールに市販のストラップを通し、通した紐の輪にストラップを通します。紐にストラップ全体を潜らせて引き絞ってください。

ベルトクリップの取り付け

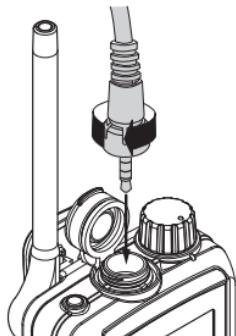


ベルトクリップの突起部を本体背面の取り付け位置の溝へ上から挿入し、カチッと音がするまで下にスライドさせて取り付けてください。取り外すときは、背面のロックを手前に起こしながら、クリップを下から押し上げて取り外してください。

ご使用の前に

オプションのイヤホンマイク取り付け

本体上部のイヤホンマイクジャックのカバーをめくってイヤホンマイクプラグをしっかりと挿し込んでネジを締めてください。使用できるイヤホンマイクは弊社オプションのKWPタイプとなります。



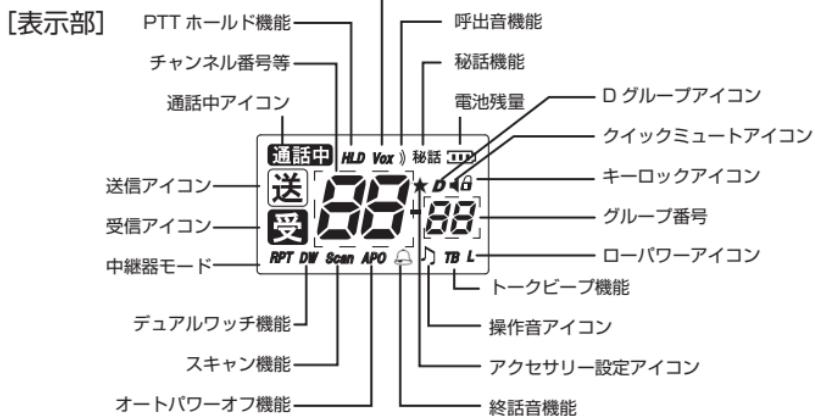
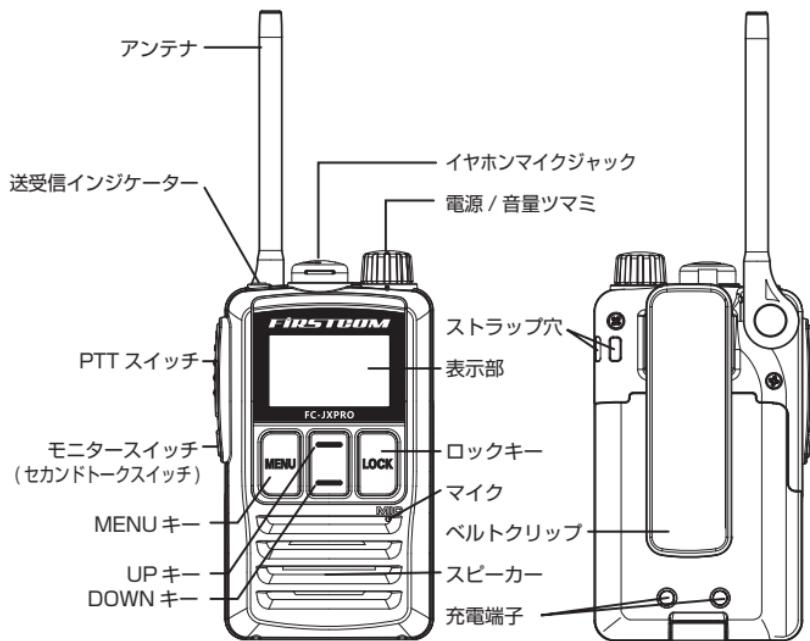
※適合イヤホンマイクはKWPタイプ。
弊社ホームページを参照してください。

折りたたみ式アンテナ採用

送受信状態が良好の時や待機時や保管時はアンテナをたたんで運用できるので、作業等の邪魔になりません。



各部の名称



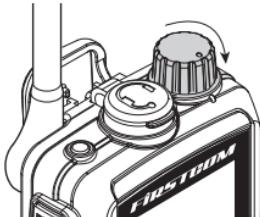
基本操作

電源を入れて通話をする(交互通話)

通話する相手のトランシーバーと同じチャンネルに合わせ、送信・受信を交互に切り替えながら通話します。まず、はじめに2台で通話テストを行ってください。

1.【電源 / 音量ツマミ】を時計方向に回して電源を入れる

液晶画面が表示され、電源が入ります。電源を切るには【電源 / 音量ツマミ】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。



2.【UP/DOWN】キーを押してチャンネルを合わせる

通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。



3.【PTT】スイッチを押して通話します

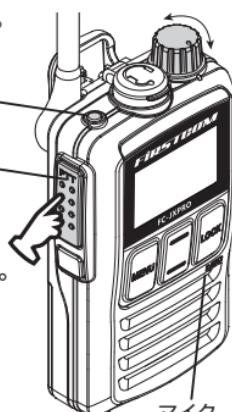
【PTTスイッチ】を押しながら話します。マイクは口元から3~4cmほど離してください。“通話中”“送”アイコンが表示されます。



送信中表示

送信中は赤色で点灯
受信中は緑色で点灯

PTTスイッチ



【PTTスイッチ】を離すと待受受信状態になります。

“受”アイコンが表示されます。

電源 / 音量ツマミを回して受信音量を調整してください。



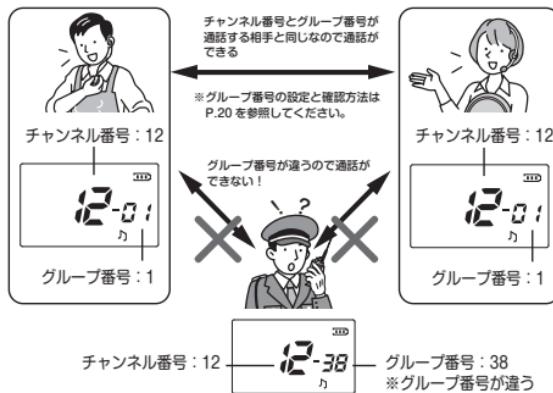
受信中表示

注意

- ・信号を受信中（[受] アイコンが点灯している間）に PTT スイッチを押して送信をしようとしても送信禁止音が鳴って送信ができません。
- ・受信状態が終わってから（[受] アイコンが消灯してから）PTT スイッチを押して送信を開始してください。
- ・3分間連続して通話し続けると、送信は自動に停止します。また、送信が停止する30秒前になると通話アイコンが点滅し、送信が停止する10秒前に警告音が鳴ります。
- ・自動で送信が停止した場合、その後2秒間はPTTスイッチを押しても警告音が鳴り送信できません。
- ・大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

グループ番号の設定

受信待受け状態で設定します。グループ番号を設定することで、同じチャンネル、同じグループからの信号のみを受信することができます。グループはチャンネル毎に設定できます。また、38グループ以外のコードも使用することができます。（D グループモード 108種類）



基本操作

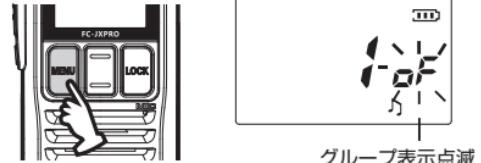
グループ番号の設定 (つづき)

1. [UP/DOWN] キーを押してグループを設定するチャンネルを選択する



例：チャンネル 1 を選択

2. [MENU] キーを押してグループ表示を点滅させます (初期設定は oF)



グループ表示点滅

3. [UP/DOWN] キーを押してグループ番号を選択する



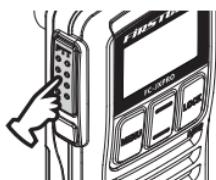
選択できるグループ番号

- グループ : 01 ~ 38
- D グループ : 01 ~ 99, A0 ~ A8
- oF: グループを使用しないとき

ご注意 : D グループは他の機種と通話できません。

4. [PTT] スイッチを押すと設定が確定され待受け表示になります

無操作の状態が約 5 秒続くと、待受け状態に戻ります。



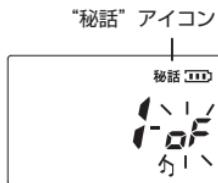
秘話の設定

受信待受け状態で設定します。秘話を設定することで、同じチャンネル、同じグループからの信号でも同じ秘話を使用していないと会話の内容が聞き取れません。秘話のON/OFFはチャンネル毎に設定できます。(秘話コードは拡張メニューで設定された秘話コードとなります。秘話コードは拡張メニューで変更できます。)

1. 拡張メニューで秘話コードを設定する (P.30 参照)

2. チャンネル、グループを選択する (P.20 参照)

3. “秘話” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



4. [UP/DOWN] キーを押して “on” “oF” を選択する



5. [PTT] スイッチを押すと設定が確定され待受け表示になります



無操作の状態が約 5 秒続くと、待受け状態に戻ります。



例：チャンネル 1
グループ 01 秘話設定

ご注意

- 第三者が同じチャンネルで秘話機能を動作させることにより、会話の内容を聞き取られる場合があります。重要な内容の会話には注意してください。
- 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違うと、通話できない場合があります。

キーロックの設定

受信待受け状態で設定します。キーロックされると、MENU、UP/DOWN キーがロックされて操作ができなくなります。PTT、モニタースイッチはロックされません。

1. 【LOCK】キーを長押しする

キーロックアイコンが点灯し、キーロックが有効になります。



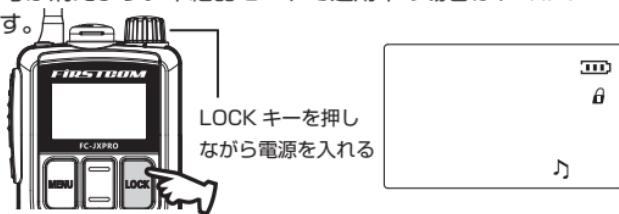
2. キーロックを解除するには、再度 【LOCK】 キーを長押しする

キーロック・チャンネル非表示機能の設定

通話チャンネルを覗き見されたくないときに設定します。LCD バックライトも点灯しません。

1. [LOCK] キーを押しながら電源を入れる

キーロックアイコンが点灯し、キーロックが有効になり、2秒後にチャンネル表示とグループ番号が消えます。中継器モードで運用中の場合は、“RPT” “L”アイコンも消えます。



2. キーロックを解除するには、再度 [LOCK] キーを長押しするか電源を入れ直す

基本操作

スキャン機能

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。

1. 【UP/DOWN】キーを長押しする

チャンネルスキャンを開始し、使用中のチャンネルを探しはじめます。スキャンの方向は“UP/DOWN”キーで選択できます。



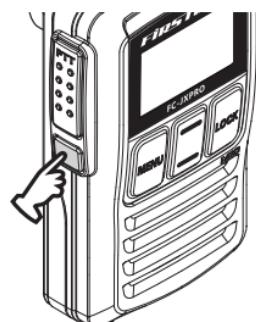
※スキャン中に有効な信号を受信すると、そのチャンネルで一時停止します。その際にPTTスイッチを押すとそのチャンネルで送受信できます。一時停止した後、送受信をしない時間が2秒経過するとスキャンが再開されます。一時停止中にUP/DOWNキーでスキャンを再開します。スキャン一時停止中は[Scan]アイコンが点滅します。

2. スキャンを解除するには【MENU】キーまたは【PTT】スイッチを押す

モニター

待受け状態でPTTスイッチの下にあるモニターキーを押すとスケルチが解除され、スピーカーから音が出ます。

受信信号強度が弱いときなどモニターキーを押すとスケルチが解除され、弱信号を受信することができます。スケルチはモニターキーを押している間のみ解除されます。



その他便利な機能

拡張メニュー モード

MENU キーを押しながら電源を入れると拡張メニュー モードになります。拡張メニュー モードでは MENU キーを押すと、現在の機能の設定値が決定され次の機能へ移動します。設定がすべて完了したら、PTT スイッチを押すと設定が保存され、拡張メニュー モードを終了して待受け状態になります。

拡張メニュー一覧

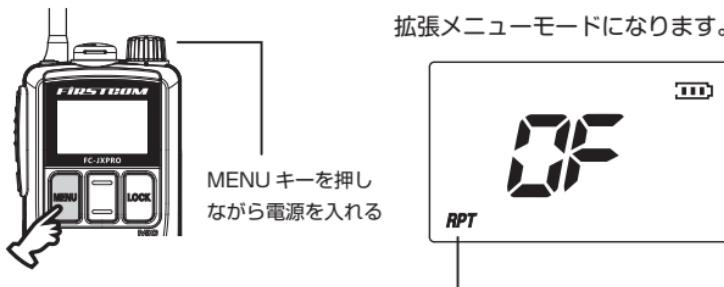
表示	機能	設定値	初期値
RPT	中継器モード (P.26)	On/OF	OF
bS	バッテリーセーブ (P.28)	OF/1/2/3	2
bt	使用電池 (P.29)	AL/nH	AL
秘話	秘話コード選択 (P.30)	OF/1/2/3/4/5/6	OF
DW	デュアルワッチ (P.31)	OF/01 ~ 20	OF
VOX	VOX(ハンズフリー)機能 (P.33)	OF/Pt/H/L	OF
VOX+dL	VOX 保持時間 (P.34)	05/10/15/20/30	15
HLD	PTT ホールド (P.35)	On/OF	OF
)	呼出音 (P.36)	OF/1/2/3/5	OF
Sq	スクルチ感度 (P.37)	OF/1/2/3	2
♪	操作音 (P.38)	ON/OF	On
bL	バックライト (P.38)	OF/At/On	At
B	トーンビープ (P.40)	On/OF	OF
📞	終話音 (P.41)	On/OF	OF
APO	オートパワーオフ (P.42)	OF/1/2/3(時間)	OF
Pt	送信許可 (P.43)	On/OF	On
L	送信出力 (P.44)	On/OF	OF
Ac	オートチャンネルサーチ (P.45)	OF/On	OF
nc	終話ノイズ軽減機能 (P.47)	1/2/3/4	1
cP	コンパンダー機能 (P.48)	On/OF	OF
◀+SP	スピーカー断線検出 (P.49)	On/OF	On
qu	クイックミュート (P.50)	On/OF	OF
LE	送受信インジケーター (P.52)	On/OF	On
rL	着信ランプ設定 (P.53)	On/OF	OF
iG	内部マイク感度 (P.54)	1/2/3/4	2
EG	外部マイク感度 (P.55)	1/2/3/4	2
★+EP	アクセサリー設定 (P.56)	On/OF	On
bP	ビープレベル (P.57)	1 ~ 8	4

その他便利な機能

中継器モードの設定

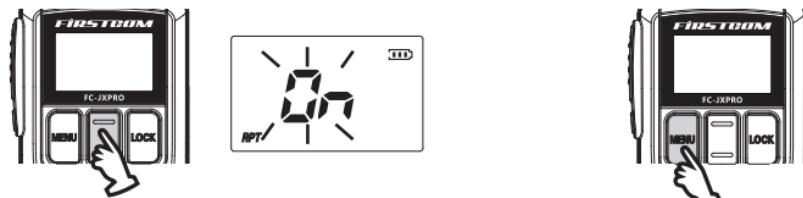
オプションの中継器を使用することで、通話距離を大幅に広げることができます。中継器を使用する場合、無線機が中継器チャンネルを使用できるように拡張メニューで中継器モードを [On] にします。また、予め中継器で使用するチャンネルとグループを選択しておきます。中継器のチャンネル設定は「中継器チャンネル周波数表」(P.9)を参照してください。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



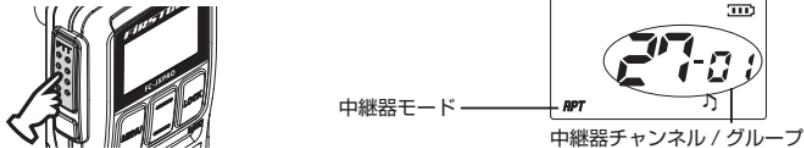
2. “RPT” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す

3. [UP/DOWN] キーを押して “On” または “OF” 選択して [MENU] キーを押して確定します



中継器を使用しないときは “OF” にしてください。(初期値は OF)

4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります



●中継器を使用して通信を行う場合

送信操作（呼び出し）

1. PTTスイッチを押して送信を開始し、押したまま中継器からの応答を待ちます。
中継機と正常に通信が確立されると、スピーカーから中継器接続音が鳴ります。
2. その後 PTTスイッチを押したままの状態で通信が開始されますので、通話を開始できます。

（呼び出しの後一旦 PTTスイッチを放しても、中継器接続が完了した後で PTTスイッチを押して通話を開始できます。）

中継機と通信が確立できない場合、接続の失敗を知らせる音が鳴ります。

受信と応答

待受け状態で信号を受信すると、スピーカーから相手の声が聞こえてきます。
応答する場合、中継器から送信が終わり受信待ち受け状態になってから 2秒以内に送信を開始してください。会話が成立していない（通話に入っていない）時、中継器が送信している間は応答が出来ません。

待ち受け状態になってから 2秒以内に送信をした場合に、通話状態になります。通話待ち受け状態が 2秒を超える場合、会話をする前に中継機への接続が再度必要になるため、“**送信操作（呼び出し）**”から行ってください。

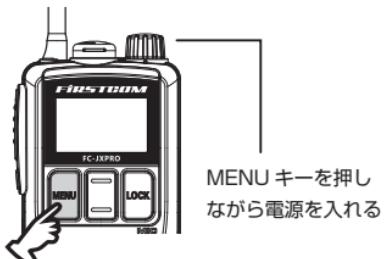
※オプションの中継器(FC-R3)の取扱説明書も参照ください。

その他便利な機能

バッテリーセーブ

待受け時のバッテリーセーブの比率を設定します。長時間運用を優先したい場合や応答速度を早くしたい場合にバッテリーセーブの間隔を調整できます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



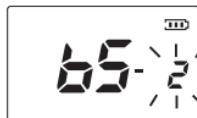
拡張メニュー モードになります。

2. “bS” が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して比率を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF/1/2(初期値)/3



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

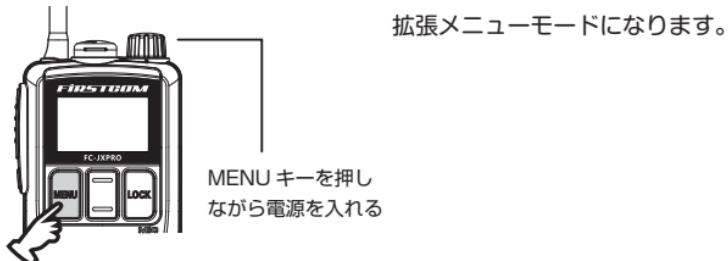
ご注意

- ・数字が大きくなるほど待受け時のバッテリーセーブ状態の比率が多くなり、長時間運用可能となります。“OF”に設定するとバッテリーセーブをしなくなります
- ・セーブの比率を大きくすると、受信時の応答に多少時間がかかることがあります。セーブの比率を小さくすると、運用時間は多少短くなりますが受信応答速度が速くなります。

使用電池

使用する電池の種類を設定します。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



2. “bt” が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して使用電池を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は AL: アルカリ電池 (初期値) / nH: Ni-MH



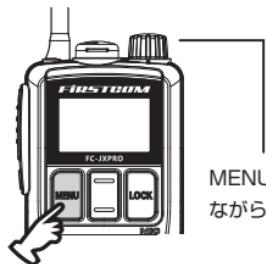
4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

秘話コード選択

秘話コードを 6 つの種類から選択できます。

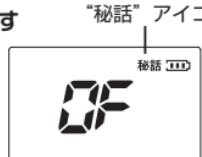
1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “秘話” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



“秘話” アイコン

3. [UP/DOWN] キーを押して秘話コードを選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/1/2/3/5/6



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

- ・ 使用中のチャンネルで秘話を使用する場合、拡張メニューで秘話コードを設定したあと、チャンネルの待受け状態で秘話を “On” にする必要があります。(P.21 参照)
- ・ 秘話設定を “OF” にすると待受け画面で秘話の設定はできません。
- ・ FRC 製トランシーバーで秘話機能を使用中の場合、秘話コードは “1” を選択してご使用ください。

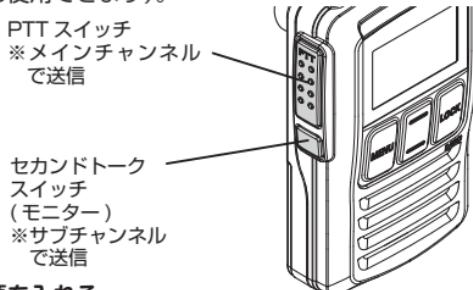
デュアルワッチ

受信

デュアルワッチ (DW) は、現在表示中のメインチャンネルと DW 用サブチャンネルの2チャンネルで待受けをする機能です。メインまたはサブチャンネルのどちらかの信号を受信したとき、そのチャンネルで通話ができます。通話終了後は再び DW を開始します。

送信

デュアルワッチ中に PTT スイッチを押すとメインチャンネルで送信し、モニターキーを押すとサブチャンネルで送信を開始します (セカンドトーク)。サブチャンネルで通話が開始されると、PTT スイッチでも通話が可能になります (モニターキーを PTT スイッチ代わりに送信ボタンとしても使用できます)。



1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

2. "DW" アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



次ページにつづく

その他便利な機能

デュアルワッチ(つづき)

3. [UP/DOWN] キーを押してサブチャンネルを選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/DW 用サブチャンネル 1 ~ 20



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

※デュアルワッチが有効になると、[DW] アイコンが点灯し 2 チャンネルを交互にスキャンをします。サブチャンネルで一時停止中は「DW」アイコンが点滅します。

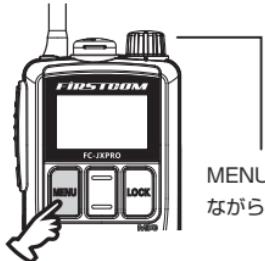
ご注意

- ・DW 用サブチャンネルは単信 20 チャンネルより選択します。
- ・メインが中継器モードでも DW 用サブチャンネルを使用することができます。
- ・モニターキーを押すと常にサブチャンネルで送信します。メインチャンネル運用中の送信は必ず PTT スイッチを使用してください。

VOX(ハンズフリー) 機能

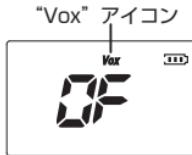
VOX 機能を使用するとマイクに向かって話すだけで、自動的に送信することができます。話を止めると自動的に受信待受け状態になります。VOX 機能が有効になっている時、[Vox] アイコンが点灯します。本体のマイクで VOX を使用する場合（アクセサリーの VOX を使用しない場合）、アクセサリー設定 P56 を OF (使用しない) にしてください。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

2. “Vox” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して vox 感度を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/Pt(誤送信や頭切れを防ぐため、【PTT スイッチ】の短押しで送信を開始し、通話中に音声入力がなくなると自動的に送信を終了します。)/H(自動送信開始の感度を高くする)/L(自動送信開始の感度を低くする)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

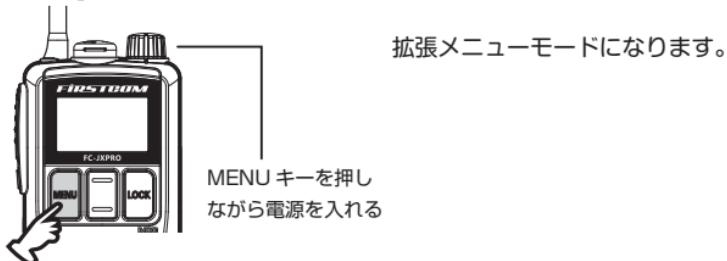
- ・VOX と PTT ホールド設定値が両方 On の場合は、PTT ホールド動作が優先されます。

その他便利な機能

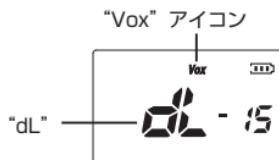
VOX 保持時間

VOX 動作で送信が開始されたとき、音声がなくなってから送信を保持する時間（受信待受けに戻るまでの時間）を設定できます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる

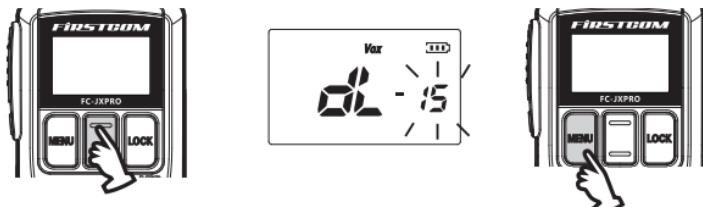


2. “Vox” アイコンと “dL” が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して保持時間を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は 05(0.5 秒)/10(1 秒)/15(1.5 秒) 初期値 /20(2 秒)/30(3 秒)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

PTT ホールド

PTT ホールド機能を [On] に設定すると、PTT スイッチを押して送信する時、PTT スイッチを放しても送信を継続することができます。無線機が送信中に再度 PTT スイッチを押す（短押し）と送信が終了し受信待受け状態になります。

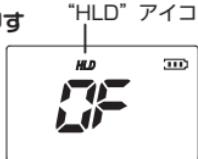
1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



MENU キーを押し
ながら電源を入れる

拡張メニュー モードになります。

2. “HLD” アイコンが表示されるまで 【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して “On” または “OF” 選択して 【MENU】キーを押して確定します

使用しないときは “OF” にしてください。（初期値は OF）



4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

PTT ホールドが “On” の時、“HLD” アイコンが点灯します。

ご注意

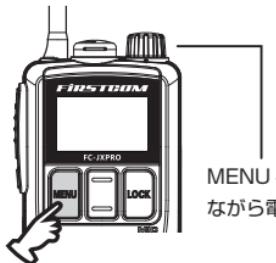
- ・特定小電力トランシーバーの規格による制限により、途中で送信が止まることがあります。詳しくは P.7 の「通信時間制限について」を参照してください。

その他便利な機能

呼び出し音

【MENU】キーを長押しすると呼出音を約2秒間送信します。

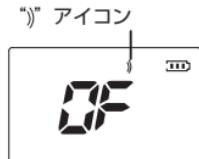
1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

MENU キーを押し
ながら電源を入れる

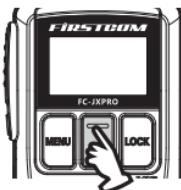
2. “)” アイコンが表示されるまで 【MENU】キーを押す



“)” アイコン

3. 【UP/DOWN】キーを押して呼び出し音を選択し、【MENU】キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/1/2/3/4/5

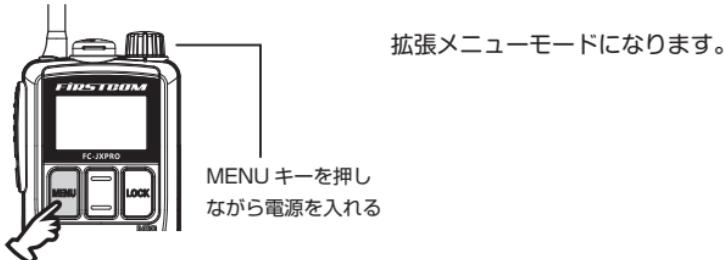


4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

スケルチ感度

スケルチ設定の値を下げるより弱い信号でも受信しますが、より雑音が多い音になります。スケルチ設定の値を大きな値にすると、雑音の少ない音になりますが、より強い信号を受信しないと音が鳴りません。OFに設定すると常に受信状態となり、信号を受信していない状態でも雑音が聞こえます。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



2. “Sq”が表示されるまで【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押してスケルチ感度を選択し、【MENU】キーを押して確定します

設定値は OF/1/2(初期値)/3 値が小さいほど弱い信号で音が鳴ります。



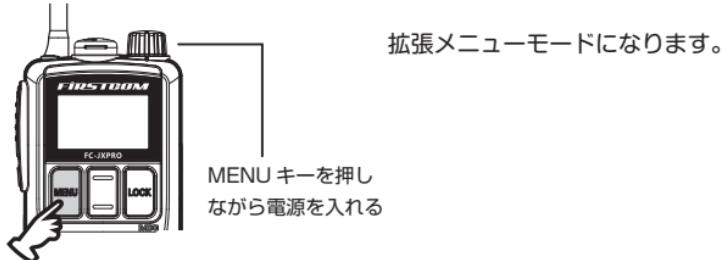
4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

操作音

キー操作をしたときにビープを鳴らすか鳴らさないかの設定ができます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



2. “♪” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して操作音の “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF/On(初期値 : 操作音あり)

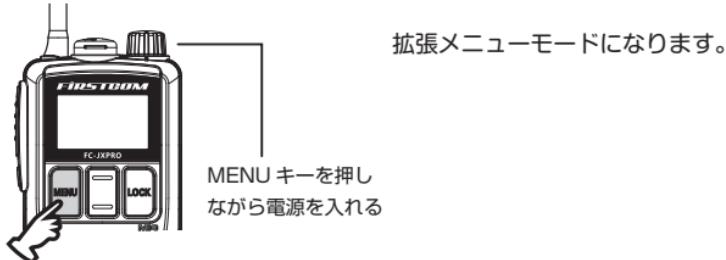


4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

バックライト

LCD バックライトを常時点灯、常時消灯または操作時に点灯することができます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



2. “bL” が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して設定を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(バックライトは常に消灯)/On(バックライトは常に点灯)/
At(初期値 : フロントキーとモニタースイッチで 5 秒間点灯)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

トークビープ

PTTスイッチを押した直後に話を始めると会話の冒頭が相手に届かない（頭切れてしまう）ことがあります。トークビープ機能を有効にするとPTTスイッチを押した後にビープが鳴ります。このビープ音の後に話を始めることで会話の頭切れを減らすことができます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

2. “TB”アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して秘話コードを選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/On(鳴らす)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

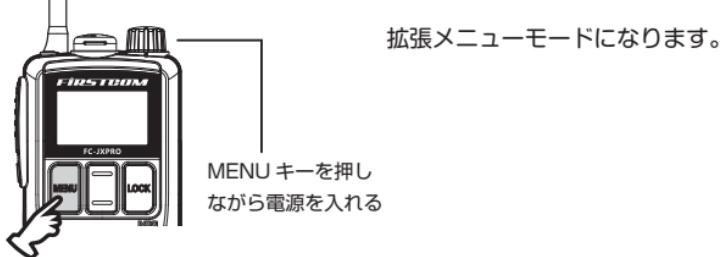
ヒント

VOX機能を使用していると、送信側（VOX使用側）ではいつ送信になるかわからないため、自分のトランシーバーが送信になっていないのに会話を始める場合があります。このため相手には会話の冒頭が届かないことがよく起こります。このような場合にトークビープ機能を使うことで会話の頭切れを大幅に減少できます。

終話音

送信を終了するときに終話音を送って、送信の終了を相手に知らせます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



2. “” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して操作音の “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値 : 終話音なし) / On



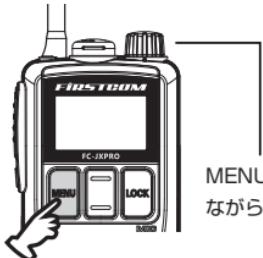
4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

オートパワーオフ

オートパワーオフは一定時間操作がない場合、自動的に無線機の電源を切ります。電源の切り忘れを防止する機能です。

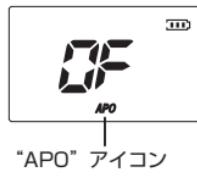
1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “APO” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



“APO” アイコン

3. [UP/DOWN] キーを押して選択し [MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(初期値)/1/2/3 時間



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

自動電源オフの 60 秒前に警告音が鳴り、“APO” アイコンが点滅します。

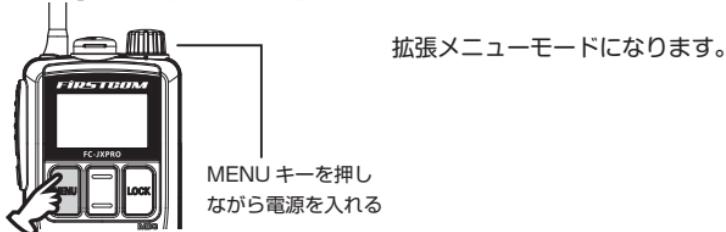
ご注意

・オートパワーオフで電源が切れた後に再度電源を入れる場合、つまみをいったん電源オフの位置にしてください。

送信許可

PTTスイッチを押しても送信しないように設定することができます。トランシーバーを受信専用機として使用することができます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる

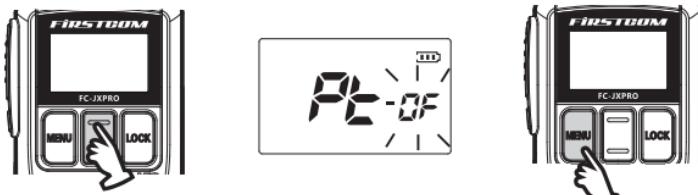


2. “Pt”が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF/On(送信可能：初期値)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

・PTTスイッチ無効時にPTTスイッチを押すと、“Err”表示と共に警告音が鳴り、送信できません。

その他便利な機能

送信出力

特定小電力無線機の規定では通常3分間以上の連続送信、連続通話をすることができませんが、中継器モード（Ch01～Ch18）で送信出力を1mWに変更することで連続送信、連続通話時間の制限がなくなります。（中継器、子機ともに1mWに設定する必要があります）

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



MENU キーを押し
ながら電源を入れる

拡張メニュー モードになります。

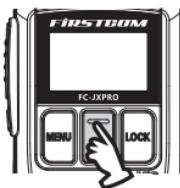
2. “L” アイコンが表示されるまで [MENU] キーを押す



“L” アイコン

3. [UP/DOWN] キーを押して “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(10mW：初期値)/On(1mW)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

- 中継器モードのチャンネルで1mW出力になるのはCh01～Ch18のみとなります。Ch19～Ch27の送信出力は常に10mWとなります。

オートチャンネルサーチ

チャンネルが混雑して交信がしにくい場所で設定することにより、PTTスイッチを押すたびに、自動的に空チャンネルを探して相手局と交信することができます。但し、相手側の無線機も同様の設定をする必要があります。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “Ac” が表示されるまで 【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して “On” または “OF” 選択して 【MENU】キーを押して確定します

設定値は OF(使用しない : 初期値) / On(使用する) ※相手側の無線機も同様の設定をする。



〈次ページにつづく〉

その他便利な機能

オートチャンネルサーチ (つづき)

4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります



オートチャンネルサーチ動作中は、チャンネル表示部分が [AC] に変わります。送受信を行っても、チャンネルとグループ番号表示は変化しません。

- PTT スイッチを押して、一呼吸おいてから通話を開始します。空きチャンネルで 5 秒ほど停止しますので相手が応答してくるのを待ちます。
- オートチャンネルサーチ動作中は、UP/DOWN キーでグループ番号を変えることができます。
- 秘話機能を使用する場合は、拡張メニュー mode で秘話コードを選択します。オートチャンネルサーチ動作中は、全てのチャンネルで同じ秘話コードが適用されます。

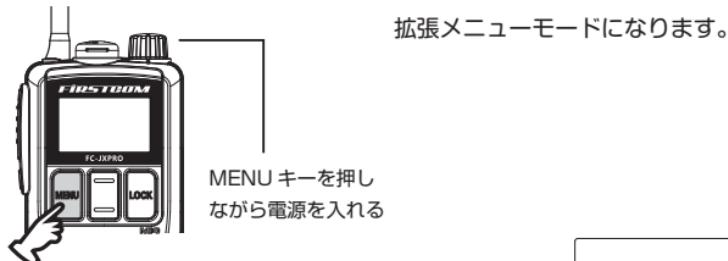
ご注意

- ・中繼器モードを “On” で使用しているときは、オートチャンネルサーチは動作しません。
- ・スキャンおよびデュアルワッチとは同時に使用することはできません。オートチャンネルサーチが優先されます。

終話ノイズ軽減機能

通話終了時の「ザッ」というノイズ（雑音）を抑えることができます。本機ではノイズ軽減タイプを4つの種類から選択できます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



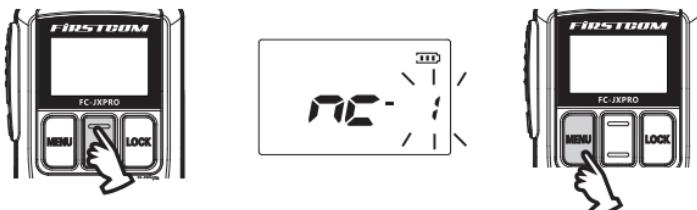
2. “nc”が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押し選択して [MENU] キーを押して確定します

設定値は1(初期値)/2/3/4

※ FRC 製トランシーバーで使用中の場合、“1”を選択してご使用ください。



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

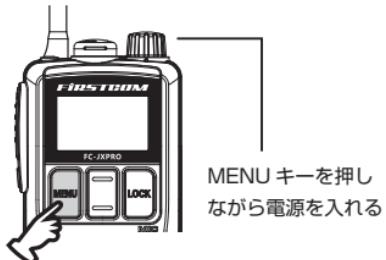
- ・FRC 製トランシーバーで使用中の場合、“1”を選択してご使用ください。
- ・他社製トランシーバー及び中継器をご利用の場合は、順次2～4をお試し願います。
- ・他社製の機器の場合、確実に機能を発揮するとは限りません。予めご承知おき願います。

その他便利な機能

コンパンダー機能

相手が話している時のバックノイズ「サー」音を軽減して聴きやすくなります。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

2. “cP”が表示されるまで【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して“On”または“OF”を選択し【MENU】キーを押して確定します

設定値はOF(初期値)/On ※相手側の無線機もコンパンダー機能を同じにしてください。



4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

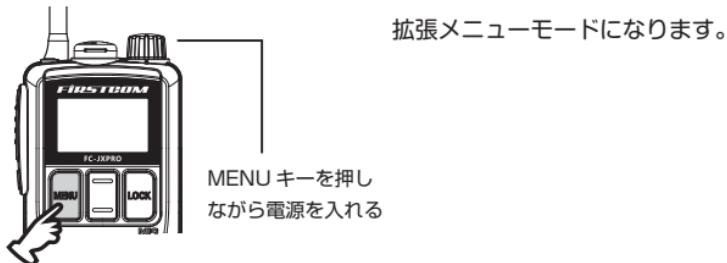
ご注意

- ・相手側の無線機もコンパンダー機能を同じ設定にしてください。

スピーカー断線検出

本機の電源を入れたときに、オプションのスピーカーが断線していないかを確認します。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



2. “SP”が表示されるまで【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して“On”または“OF”を選択し【MENU】キーを押して確定します

設定値は OF/On(初期値)



4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

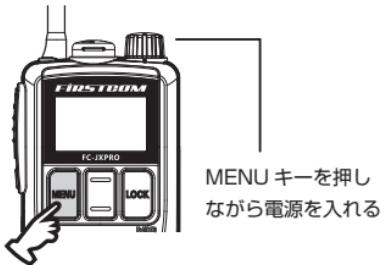
- ・断線を検出した場合は “Er- SP” を約 5 秒間警告表示してから、通常のチャンネル表示になります。

その他便利な機能

クイックミュート

音量ツマミを回さずにロックキー短押しにより操作音と音声を一時的に下げる事ができます。再度押すと解除されます。クイックミュート動作中は、“スピーカー”アイコンが点滅します。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



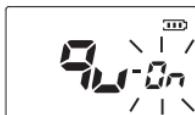
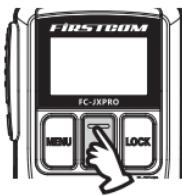
拡張メニュー モードになります。

2. “qu” が表示されるまで 【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して “On” または “OF” を選択し 【MENU】キーを押して確定します

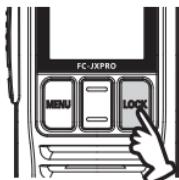
設定値は OF(初期値)/On



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります



- “LOCK”キー短押しすると“スピーカー”アイコンが点滅し、音量／操作音が小さくなります。



“スピーカー”アイコン点滅

- クイックミュートはいずれかの方法で解除されます。

- ・ロックキーを短押しします。
- ・電源をオフにします。
- ・3分経過すると自動で解除されます。

ご注意

- ・オプションのイヤホンマイク使用時に、クイックミュートを解除する際は音量レベルにご注意ください。音量つまみの位置によりイヤホンから大きい音量が出る場合があり、耳に影響を及ぼす恐れがあります。

その他便利な機能

送受信インジケーター

送受信インジケーターを常時消灯することができます。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる

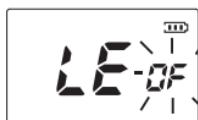


2. "LE" が表示されるまで 【MENU】キーを押す



3. 【UP/DOWN】キーを押して "On" または "OF" を選択し、【MENU】キーを押して確定します

設定値は OF(常時消灯)/On(初期値)



4. 【PTT】スイッチを押すと待受け表示になります

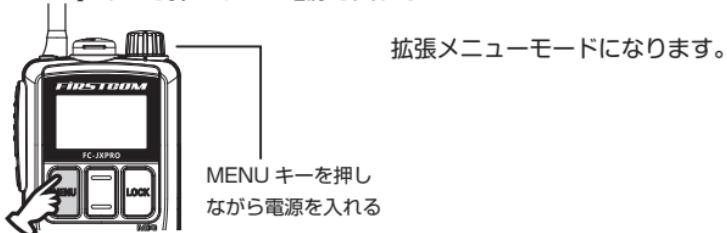
ヒント

- ・映画館などの暗い場所における使用時に、インジケーターを常時消灯することができます。また、操作音やLCDパックライトも "OF" 設定にすることにより、そのようなシチュエーションで効果的に運用できます。

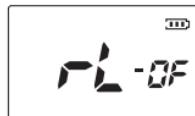
着信ランプ設定

グループ番号が一致した信号を受信したときに、LCD バックライトを点灯することができます。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



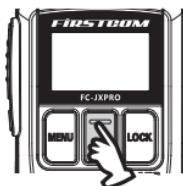
2. “rL” が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(常時消灯)/On(初期値)

バックライトの点灯条件は、LCD バックライトの設定に従います。



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ヒント

- 無線機を離れた場所に置いている時などに着信の確認ができます。

その他便利な機能

内部マイク感度

本体内蔵のマイク感度を設定します。数値が大きくなるほど感度が上がります。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

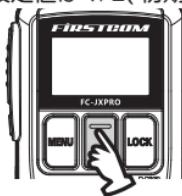
MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “iG”が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して選択し [MENU] キーを押して確定します

設定値は 1/2(初期値)/3/4



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

外部マイク感度

外部マイクの感度を設定します。数値が大きくなるほど感度が上がります。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “EG”が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して選択し [MENU] キーを押して確定します

設定値は 1/2(初期値)/3/4



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

アクセサリー設定

オプションのイヤホンマイク及びPTTを使用するときに設定します。アクセサリー設定をオフにすると、“★”アイコンが点灯します。

1. [MENU] キーを押しながら電源を入れる



MENU キーを押し
ながら電源を入れる

拡張メニュー モードになります。

2. “EP”が表示されるまで [MENU] キーを押す



3. [UP/DOWN] キーを押して “On” または “OF” を選択し、[MENU] キーを押して確定します

設定値は OF(使用しない)/On(使用する : 初期値)



4. [PTT] スイッチを押すと待受け表示になります

ご注意

- オプション品に記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
- 本体のマイクでVOXを使用する場合(アクセサリーのVOXを使用しない場合)、アクセサリー設定をOF(使用しない)にしてください。

ビープレベル

ビープ音量を調整することができます。数字が大きくなるほど音量が上がります。

1. 【MENU】キーを押しながら電源を入れる



拡張メニュー モードになります。

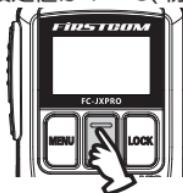
MENU キーを押し
ながら電源を入れる

2. “bP” が表示されるまで 【MENU】 キーを押す



3. 【UP/DOWN】 キーを押して選択し 【MENU】 キーを押して確定します

設定値は 1 ~ 8(初期値 : 4)



4. 【PTT】 スイッチを押すと待受け表示になります

その他便利な機能

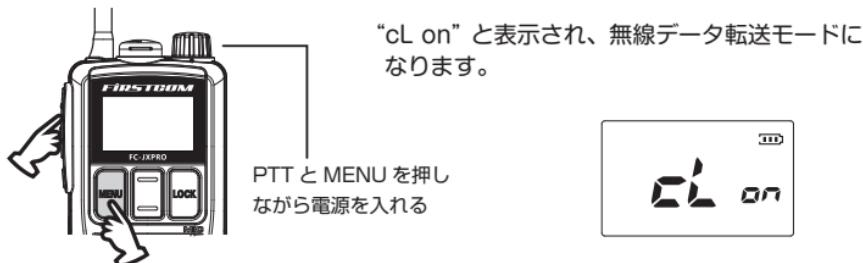
無線データ転送 (エアークローン)

送り側に設定されている以下の内容をワイヤレスで一斉に複数台へ転送することができます。但し、受け側の無線機は本機に限ります。他のモデルとの互換性はありません。

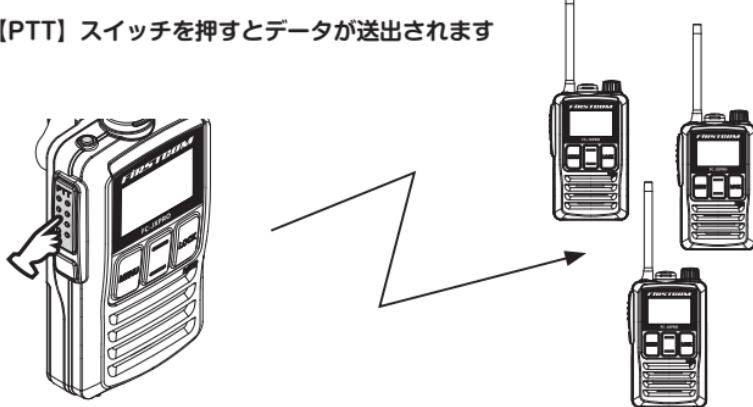
転送される設定内容：

- 拡張メニューの設定内容
- 各チャンネルのグループコード・秘話設定
- 現在運用しているチャンネル・グループコード・秘話設定
- バックアップの内容（キーロック・スキャン状態）

1. [PTT] スイッチと [MENU] キーを押しながら電源を入れる



2. [PTT] スイッチを押すとデータが送出されます



- 送り側の PTT スイッチを押すと、データが送出されます。
- 受け側は正常にデータが転送されると、無線データ転送モードを終了して待ち受け状態になります。
- データ転送が完了したら、電源を切ります。

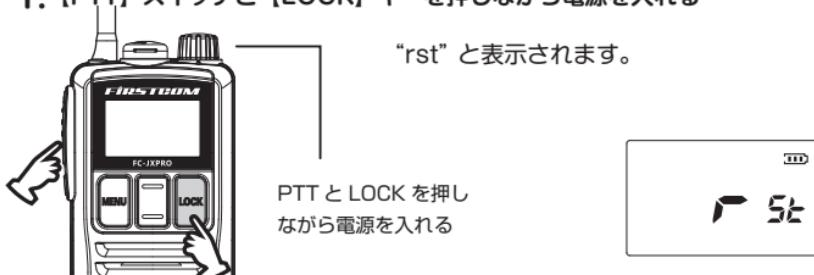
ご注意

- ・送り側と受け側を近づけた状態でデータ転送を行ってください。
- ・ノイズが多い環境でデータ転送を行うと正常にコピーできない場合があります。

リセット（お買い上げ時に戻す）

リセットをすると、設定されている内容はすべて初期化され、工場出荷状態に戻ります。

1. [PTT] スイッチと [LOCK] キーを押しながら電源を入れる



2. [PTT] スイッチと [LOCK] キーを放します

設定がリセットされて初期値へ戻ります。
無線機は Ch1 で待受け状態になります。

故障かな？と思ったら

操作がわからなくなったり、動作が不安定になった場合は、まずリセット (P.59) を行ってください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電池の向きが違う	電池を正しい方向に入れる
	電池が消耗している	新しい電池に交換する。または、電池を充電する。充電しても電源が入らない場合は、電池が寿命を迎えている可能性があります。
受信できない	PTT が押されている	PTT を放す
	グループ番号が異なる	相手と同じグループ番号にする (20 ページ参照)。
相手と通話できない	チャンネルまたはグループが違う	相手と同じチャンネル・グループ番号に合わせる
	相手との距離が離れすぎている	通話のできる距離まで近づく
音が出ない	ボリュームが絞られている	ボリュームを上げる
	クイックミュートがオンになっている	クイックミュートをオフにする
送信できない	受信アイコン [受] が点灯している	チャンネル番号を変更する、受信アイコンが消えるのを待つ、またはスケルチ感度を下げる
音声が聞き取れない	送信側または受信側、いずれか一方に秘話機能を設定している	送信側・受信側共に同じ設定にする (30 ページ参照)
何も聞こえないのに受信アイコンが点灯する	他の人が同じチャンネルで別のグループ番号を使用している	別のチャンネルに移動する (18 ページ参照)

症状	原因	処置
受信音がもごもご聞こえる	相手側トランシーバーの秘話設定がオンになっている	相手側トランシーバーの秘話設定をオフにする
チャンネル表示が出ていない	キーロック・チャンネル非表示機能がオンになっている	必要であれば、キーロック・チャンネル非表示機能をオフにする
中継器を使用した通話が出来ない	中継器モードになっていない	中継器モードに設定する(26ページ参照)
キーを押しても表示が変わらない	キーロック状態になっている	キーロックを解除する(22ページ参照)
	その他の異常	リセットをする(59ページ参照)
表示がすぐに消える	電池が消耗している	電池を交換または充電をする
勝手に送信される	VOX機能がオンになっている	VOX機能をオフにする(33ページ参照)

それでも動作しない場合は

〒194-0037

東京都町田市木曾西2-3-8

株式会社エフ・アール・シー サービス課

TEL: 042-793-7746

土日祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00、13:00～17:00】

主な仕様

送受信周波数	422.050 ~ 422.300 MHz (単信 20 波) 421.5750 ~ 421.9125 MHz (半複信受信 27 波) 440.0250 ~ 440.3625 MHz (半複信送信 27 波)
電波形式	F3E, F2D
送信出力	10mW, 1mW
受信感度	-14dBuV 以下 (12dB SINAD)
低周波出力	500mW 以上 (@ 定格電圧 8 Ω負荷 10%歪)
電源電圧	DC3.6 ~ 4.5V (FBP-2 または単三形アルカリ乾電池 3 本)
使用時間	乾電池 約 47 時間、充電池 約 30 時間 測定条件: 低周波出力 100mW、送信 10 秒、受信 10 秒、 待受 80 秒の繰り返し動作
動作温度範囲	-10°C ~ +50°C (但し結露しないこと)
寸法 (突起物を除く)	約 56(幅) × 95(高さ) × 29(奥行)mm
質量	約 167g(ベルトクリップ、乾電池含む)

付属品 :

ベルトクリップ × 1

取扱説明書(本紙 : 保証書付) × 1

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、操作方法等に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持込いただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみの保証となり、商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
 - ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。
- ※ネックストラップ、ベルトクリップは消耗品につき初期故障（使用開始後10日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL: 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く [10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00]



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくな、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商品名	特定小電力トランシーバー FC-JX PRO		
保証期間	1年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL.		
お名前			
販売店	住所		
	店名		

(印)

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曾西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-1-R-CK-01